

第7期宇治市生涯学習審議会 会議録

名 称	第7期宇治市生涯学習審議会 第6回審議会						
日 時	平成28年4月15日(金)午後2時~4時						
場 所	生涯学習センター 2階 一般研修室						
出席者	委 員	×	岩井 浩	○	小宮山 恭子	○	西山 正一
		○	内田 徹	○	佐藤 るり子	○	林 みその
		○	奥西 隆三	○	清水 桂子	○	向山 ひろ子
		○	木村 孝	×	杉本 厚夫	○	森川 知史
		○	切明 友子	○	長積 仁	○	六嶋由美子
	事 務 局	○	藤原 千鶴(教育部参事(兼)生涯学習課長(兼)生涯学習センター所長)				
		×	瀬野 克幸(教育支援センター長)				
		×	富治林 順哉(教育支援課長)				
		○	今庄 真樹(生涯学習課副課長)				
		○	前田 暢(生涯学習課主幹兼生涯スポーツ係長)				
		○	高橋 紀子(生涯学習課事業係長(兼)生涯学習センター主査)				
		○	野口 里佳(生涯学習課生涯学習係長)				
		○	粕谷 祐次(生涯学習課生涯学習係主任)				
	○	太田 悠(生涯学習課生涯学習係主任)					
傍聴者	なし						

会議要旨は、下記のとおりである。

• 第5回審議会の会議録について

前回の会議録について、以下のとおり修正があったため報告。

会議録10ページ上から19行目

×訂正前：「宇治市健康づくり・食育推進基本計画」に基づく「うー茶ん」連絡協議会を構成する13団体のひとつであり、

○訂正後：「宇治市健康づくり・食育推進基本計画」に基づく「宇治市健康づくり<うー茶ん>連絡会」を構成する13団体のひとつであり、

会議録5ページ上から14行目

×訂正前：子育て家庭の訪問や、「まるごとわたしサロン」などがあり、後者のように参加費を取るものもある。

○訂正後：子育て家庭の訪問サポートや、「まるごとわたしサロン」などがあり、有料で実施するものもある。

会議録5ページ下から1行目

×訂正前：全新生児を対象に、希望のあった家庭を訪問している。保健の専門知識が必要な家庭には、保健師が行く。

○訂正後：全新生児を対象に、市の担当課がリストアップをした家庭を訪問している。保健の専門知識が必要な家庭には、新生児訪問として保健師が行く。

会議録 6 ページ上から 5 行目

×訂正前：来てほしいと要請があったところに行くのでいやがられることはない。

○訂正後：これまで訪問した家庭で訪問を拒まれたことはない。

会議録 6 ページ上から 10 行目

×訂正前：来てほしいと要請があったところに行くのでいやがられることはない。

○訂正後：これまで訪問した家庭で訪問を拒まれたことはない。

1. 報告事項

➤ 平成 27 年度子どもの読書活動推進事業について

(事務局)

平成 27 年 11 月 1 日(日)～29 日(日)午前 9 時～午後 5 時まで中央図書館、東宇治図書館及び西宇治図書館で、乳幼児から中学生までを対象に「子ども読書ビンゴ」を開催した。また、平成 27 年 11 月 29 日(日)午前 10 時～午前 11 時に、中央図書館と中央公民館にて「『子ども読書ビンゴ』おはなし会」を開催した。今年度についても、宇治市子どもの読書活動推進委員会にて子どもたちが読書を楽しむきっかけとなるような取り組みをしていく。

➤ 平成 27 年度宇治市生涯学習人材バンク研修会について

(事務局)

平成 28 年 3 月 17 日(木)午後 7 時～午後 8 時 30 分まで、生涯学習センター第 2 ホールで「人が集まる！チラシカアップ講座」を開催した。この研修会は人材バンク登録講師が、自分の力で活動を広げる時に役立つ知識を提供することと、登録講師同士の交流により、新たな生涯学習活動を創出することを目的にしている。また、人材バンクの認知度を高めるために、一般の参加者も募集した。今回は人材バンク登録講師 7 名、一般 10 名の参加があった。講師は生涯学習センターの職員が務めた。研修後のアンケートでは参加者の 94%が「良かった」と答えており、今年度も引き続き人材バンク事業の活性化に取り組んでいく。

2. 協議事項

➤ 今期の研究テーマについて

発表 1 コミュニティセンター、公民館の活動について

(発表委員)

東宇治コミュニティセンター(以下コミセン) 木幡公民館に加え、3 月末に宇治公民館の移転の問題が報道されたため、急きょ宇治公民館も対象として調べてみた。要は公民館が社会教育にとってどういうものであるのか。私はやはり、社会教育の観点から見て、公民館は必要であると考えます。

宇治公民館に関しては高齢者学級が毎月あり、木幡公民館でもほぼ毎月やっている。西山委員が講師をされたこともある。木幡公民館は 60 サークルが登録している。木幡公民館の利用申請件数は 1,515、宇治公民館は 1,600 である。一枚の申請用紙で複数の部屋を使えることもある。宇治公民館は市民会館も併設しているので、トータルすると、非常に利用回数は増えてくる。コミセンは有料なので、コミセン利用者からは、「公民館はお金がかからなくていい」と評価される。ある程度の受益者負担は必要なのかもしれない。議論として出てくる問題であろう。

(委員)

昨年度は 4 つの公民館の高齢者教室で講師をしたが、参加者は元気な方が多く、講義慣れしていて、良い講演をするには歌や休憩をはさむなど、工夫が必要だと感じた。公民館で講師をする際に市教委からバックアップしてもらえると、活動に入りやすいと思う。2 時間という時間の中で、参加者の集中力を引きつけておくのが難しかったが、非常に勉強になった。いいことだが最近では近隣で災害が少ないためか、あまり講師依頼は来ない。

(委員長)

私も職業柄よく公民館に行くが、高齢者でも元気な人は多く、サークル活動も活発である。現役世代の利用が増えれば良いが、仕事が生活の中心になってしまっている。とはいえ、雇用者側がゆとりを持ち、社会全体が変わったとしても若い人が本当に集まるものなのかかわからない。事実として現在、活発に活動されていることには注目していきたい。

(委員)

コミセンと公民館は有料と無料という違いはあるが、特定の団体ばかりが使うということはないか。新しい利用者が増えるだけの余裕はあるのか。

(発表委員)

コミセン、公民館とも申し込みは 2 か月前からになっている。公民館の方が、特定の団体が使っている傾向はあるかもしれない。

(委員)

公共施設は、利用についてよく知っている人だけがよく使う傾向がある。どう開かれていて、広く使われているかが知りたい。

(発表委員)

東宇治コミセンは利用サークル数が 39 ある。一覧表に載っている団体の数。全てが有料のもの。参加者は月々会費を払っている。講師には収入が入ることになり、コミセンには営利目的の部分もある。また、毎月決まった日に開催するので場所取りが大変。普段はうまく回っているが、時々いつも使っている時間帯に、他のサークルと競合することがある。その場合複数の会員が行ってじゃんけんで決めたりしている。

(委員長)

その点公民館は費用を取らないと思うが、どうなのか。

(事務局)

公民館サークルは、仲間うちで勉強のために、講師を呼ぶときは会費で支払っていると思うが、あまり高いと実態を調査することになる。サークルが講師を呼ぶことになるので、月に何回稽古日ということではない。サークルの中でも基本的には同じ曜日の同じ時間帯に利用することが多い。また、公民館が事業を主催することもある。

(委員長)

公民館そのものが主催する事業があるというのは、コミセンとは違う部分だ。

(発表委員)

コミセンでも輪投げ大会から茶香服大会まで、コミセン推進協議会が主催している。

(委員長)

基本的にコミセンと公民館の違いとはそのような部分かと思う。

(委員)

公民館は土日祝が休館だと理解しているが。

(事務局)

館によって異なる部分がある。中央公民館は月・祝が休みで、他は日・祝が休みであるが、宇治公民館は市民会館としての利用の場合、有料になるが日曜日でも利用ができる。

(委員)

コミセンの休館日はいつなのか。

(発表委員)

コミセンは月曜日が休館。月に 1 回は開館しているが、あまり知られていない。

(委員長)

このことは生涯学習、社会教育が何であるかという根幹的なところにも関わってくるので、委員のみなさまにも注目して情報収集してみてください。

発表 2 小倉公民館について

(発表委員)

さきほどの発表とも少し重なる部分もあると思うが、登録サークルが 30 程度ある。私自身昭和 45 年から小倉に住んでいるが、小倉公民館については入り方もよく知らなかつ

た。平成 2 年に民生委員をすることになって、年に 2 回の高齢者の配食会の手伝いをするようになった。毎年利用者が増えてきて、5 年経つ頃には飽和状態になった。その頃学区福祉委員会が立ち上がり、そこで配食会をすることになった。今年で 15 年目になる「小倉あいあいルーム」では、子育て支援も行っている。今はだいたい 2 歳までの子どもが来る。以前は親子体操をしていたが、最近は体の固い人が多いので、お母さんにストレッチを教えている。

月に 1 回の民生委員の会議を公民館で開催しており、公民館の行事には必ず参加するように、話し合っている。私自身これまで、公民館まつりや、盆踊りなどに参加してきた。民生委員をされている方は、小倉学区福祉委員であり、サークル活動の実行委員、喜老会の役員を複数兼ねている人も多く、頻繁に公民館を利用されている。公民館主催の講座では、あまり面白くないと感じたら、途中で帰ってしまう人も多い。

(委員)

民生委員が主催する「小倉あいあいルーム」の場合、公民館利用の予約が大変なのは。

(発表委員)

1 年間分予約ができています。

(事務局)

行政に準ずる民生委員の活動ということで、優先して予約できる。

(委員)

私も民生委員の活動で年に 2 回東宇治コミセンを利用しているが、コミセンの推進協議会と共催という形にしており、協議会長のあいさつが最初に入っている。

(委員長)

公民館によって雰囲気は様々に違って来る。

(事務局)

小倉公民館の特徴は、実施主体の様々な団体と一緒に事業を開催している。旧村の中心地に位置しており、コミュニティの中心となっている。

(発表委員)

公民館の事業で以前には、喜老会でしめ縄作りをしている人がいた。体力的に厳しくて引退されたが。

(委員)

小倉公民館地域も高齢化が進んでいるという話を聞いている。見守りの拠点になっていくのかもしれない。「老々ボランティア」という形にもなってくるのかもしれない。60～

70代の方は趣味の集まりがあると思うが、もう少し年長の方々を呼ぶような取組はあるのか。

(発表委員)

「蓮の実教室」というものがあり、これは歩いて公民館まで来られる人が対象となる。ボランティアの方も、来られた本人も、同じくらいの年代である。高齢者ばかりだが、活気があり、来られた方は楽しそうにしている。役員会で当番を決め、順番に行っている。

(委員)

70歳以上の方をうまく引き込めるよう公民館が仕掛けていければ良い。

(委員)

「蓮の実教室」では、出席簿をつけている。来なかった人はすぐわかるので声を掛け合ったりしている。実際連絡すると「忘れていた」などがあるらしいが。

発表3 生涯学習施設の利用について

(発表委員)

地震があった熊本で1月に講演をしたことがある。熊本県の生涯学習フェスティバルに呼ばれた。平成23年の全国大会(京都大会)でもものがたりをしたことがきっかけである。その時岐阜県大垣市の社会教育委員の方とも知り合い、岐阜県の研究大会に呼ばれ、コラボレーションでその人はピアノを弾き、私はものがたりをしたことがある。また今度名古屋でやることになっている。

様々な施設でもものがたりを行ってきた。生涯学習センターの第1ホールを使って「市民サポート事業」で雅楽との共演をした。可動式の客席がいいのだが、出入り口の位置が前の方にあり、遅れて来られた場合、やりにくいし入りにくい。子ども達の朗読劇に力を入れている。3月12日に文化センターで発表を行った。これから第5期の募集が始まる。市役所ロビーで開催したこともある。子ども達の学校の時間に合わせると、夏休みの開催になってしまう。京都府立図書館や島根県立美術館でも開催したことがある。平成20年の源氏物語千年紀の際には、市内3つの図書館で、閉館後に上演した。中央図書館ではカウンターの上に台を置いてそこに座って演じた。夜の図書館でやるのも、普段と違う雰囲気が出ていて良かった。日本百名月に宇治も選ばれている。例えば秋の夜に市役所のロビーコンサートを開催してみるなど、主催者側は大変だろうが、施設の利用についても、もっと様々な形でやってみたらいいと思う。市民サポート事業以外は主催ではなく、依頼があって演じた。

中央公民館の利用について、文化センター経由で申し込めば、登録サークルでなくても使えたと聞いたことがある。少しわかりにくいので、よりわかりやすく、使いやすくなったらと思う。

(委員)

体育振興会 20 周年、バレーボール協会 20 周年のイベントの際に、発表委員に依頼したことがある。例年にはない文化系の催しだったので、出席者には非常に好評で、成功だった。

(委員長)

全国規模で活躍されていて、すごいことだと思う。活動の範囲が広く、その活動の分野をどう分類していいかわからない。

(発表委員)

源氏物語千年紀のときは、源氏物語を全く知らない人達にも見てもらう機会となった。今も古典の日が継続をしているが、あまり盛り上がりを感じない。

(事務局)

中央公民館の利用だが、社会教育の目的に沿った団体・活動なら、可能である。そうでない場合も、有料で使用することができる。宇治公民館と市民会館の区別と同じような考え方で、広く利用してもらうための措置である。

(委員長)

営利目的でも大丈夫なのか。

(事務局)

その場合使用料が倍額になる。

(委員)

産業会館でも倍額支払で営利活動ができる。企業のフェアなど行っている。

(事務局)

市の施設では、生涯学習センターの利用料金が一番高い。

(発表委員)

そういう施設の使用料が一覧になった表は無いものか。

(委員)

無い。それぞれ運営組織が違うので、横の連携はあまり取れていない。

(事務局)

市の公共施設全てについて、いずれ利用料金の見直し検討が必要な時期が来るだろう。

(委員)

公民館での使用優先順位としては、公民館サークルと行政どちらが上なのか。

(委員)

行政の次が公民館サークル連絡協議会(以下、公サ連)。公サ連に加盟すると使用できるが、公民館まつりに出なくてはならない。それを負担に感じて加盟したくない団体もある。

(委員)

公サ連に入らないでも公民館の利用ができるのか。

(事務局)

それを認める公民館もあるが、公サ連加盟団体の方が優先度は高い。

(委員)

場所の取り合いが発生するということが。需要に対して場所が少ないのでは。

(事務局)

公サ連に人員を出せないというサークルもある。加盟サークル数は広野などでは減ってきているが、中央公民館は盛んである。鳳凰大学があり、公サ連とは別のクラブ活動があるのが特色だ。

(委員)

集会所は市内に 130 以上ある。場所によっては駐車も自由にできる。

(委員)

公民館の利用優先順位でいうと、1 行政、2 コミセン、3 地域、4 サークルの順になっているようだ。学校の開放運営委員会ではどうか。

(委員)

1 行政、2 コミセン、3 その他の順だと思う。

(事務局)

学校開放は、土日や平日晩に体育館や運動場を利用できる。概ね 1 行政、2 PTA、3 スポーツ団体の順だと思う。開放運営委員会が調整して決める。

(委員)

体育館も予約でいっぱいになっている。平日の夜は 19 時から 21 時しか使えない。

(委員)

選挙があれば投票所として最優先で使用されている。

(委員)

新しい人・団体が公共施設を使えないようでは公共性が担保されない。登録サークルがいなくなると使えないという仕組みを変えていく必要があるのでは。

(委員)

同一団体が2つ、3つに登録して、たくさん使おうとする現象が問題になっている。

(委員)

公民館、コミセン、集会所があり、ふれあいセンターとはどういう位置づけなのか。

(事務局)

ふれあいセンターは市長部局の文化自治振興課の管轄である。もともと8つあった市立幼稚園のうち、4つが廃園となり、その跡地を利用して暫定的にふれあいセンターとした。槇島幼稚園は槇島ふれあいセンターの後、槇島地域福祉センターに、菟道幼稚園は菟道ふれあいセンターと青少年指導センター・適応教室に、平盛幼稚園は平盛ふれあいセンターと大久保青少年センターになった。伊勢田もふれあいセンターである。

(委員)

アクトパルは独自の事業を行って、企業が運動会を開催したりしているが、どういう分類になるのか。笠取ファームは地元の方が運営されている。

(事務局)

アクトパルは宇治市の施設であり、指定管理制度のもと、「公益財団法人宇治市野外活動センター」が運営を委託されている。管轄は生涯学習課である。条例で利用料金が決まっている。使用目的に沿っていけば、企業の利用も可能である。

(委員)

大阪の方からもよく利用されているが、市民とそうでない人の違いはあるのか。

(事務局)

宇治市内の小中学校などは8か月前からの予約、市民は7か月前からの予約が可能で、市外在住者はそれよりも後の予約になる。

(委員)

せっかく多くの来場者がいるので、アクトパルの食事はもう少しおいしくしてほしい。バーベキューはやりやすいし、期間限定・宿泊者限定のしし鍋もおいしい。夜には星がき

れいなので、もっと多くの人に利用してほしいと思っている。

3 . その他

➤ 平成 28 年度社会教育事業について

(事務局)

- 京都府社会教育委員連絡協議会総会：6月10日(金)綾部市中央公民館にて。
 - 山城地方社会教育委員連絡協議会総会：6月16日(木)京田辺市中央公民館にて。
 - 近畿地区社会教育研究大会：9月9日(金)大津市民会館にて。
 - 全国社会教育研究大会：10月26日(水)～28日(金)千葉県文化会館にて。
- それぞれ人数に限りがあるが、できるだけ多くの委員に参加をお願いしたい。

➤ 最後に

(委員長職務代理)

今回は3名の発表があり、課題もあって意見の飛び交う議論になった。次回もまた引き続き発表ということになっている。新しい情報が入ってくるので楽しみでもある。

< 次回の会議について >

平成 28 年 6 月 23 日 (木) 午後 2 時 30 分から 生涯学習センターにて